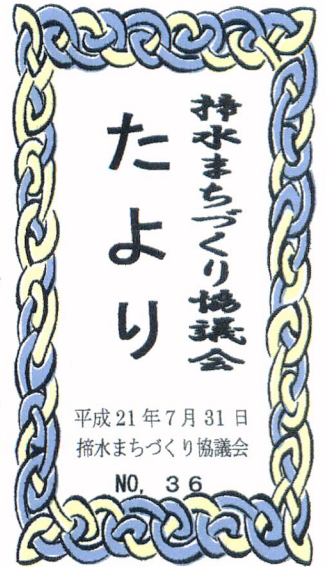


掃水まちづくり協議会

「できるところから運動」アンケート結果について

(自由記述欄への回答)

環境問題プロジェクトチームより



今回の「たより」はアンケートにいただいた質問や意見と、今後のプロジェクトの取組を挙げさせていただきます。

できるだけ質問や意見は載せさせていただきましたが、紙面の都合上、全てをお示しすることはできません。全文を記載した資料を環境問題プロジェクトの委員の方、もしくは自治会長さんにお渡ししてあります。皆様からいただいたご意見等は今回の発行で決して解決できるものではありません。是非、集会などを利用して町ぐるみで話し合っていたいだきたく思います。

結局のところ地域の皆様お一人お一人が、実施中の「できるところから運動」をどのようにとらえて、各自治会、町内会がどこまで緊迫感を持って今後の取組ができるかどうかにかかっていると思います。皆様のご理解・ご協力を偏にお願いする次第です。

1、「あいさつ」に関するもの

(みんなの質問・意見)

- ・掃水小の子ども達のあいさつができていないのが残念です。
- ・顔も見えない夕暮れ時、道路や畑で東部中の男子生徒があいさつをしていく。我が子以上である。満ち足りない部分を補ってくれているようだ。又、それが私のパワーとなる。それ以上のお返しのできるあいさつをしたくなる。
- 1日の大半を漕代地区で過ごす、小学生も漕代小の児童の方が伸び伸びとあいさつするように思う。小学生にはあいさつは大切なことだが、強制するのはどうか。
- ・毎日のように「おはよう」と声をかけていますが、なかなか返事が返ってこない。引率者から積極的に言えるように、また低学年は学校側で指導してほしい。
- ・子ども達と出会いますが、元気な声が出てこない。どうしたらあいさつがいきかうのか、毎年考えるのですが、大人が元気にあいさつすることでしょうか。

(協議会やプロジェクトの取組)

- (1) あいさつは町で生活するためのマナーの第一歩です。人に話しかけるときには「こんにちは」「すみません」などと、声かけから始まります。あいさつの指導は、基本的に、親御さんが大切な自分のこどもを育てる親の責任として行うのが重要であります。またあいさつは、学校、家庭、そして地域のみんなが連携して取り組むべきところもあり、何度も繰り返し根気強く取り組むことだと思います。地域の皆様には地域の子どもを育てるという観点からあいさつを率先して行っていただくよう、ご理解とご協力をお願いするものであります。
- (2) 地域の学校に対しましては、このアンケート結果に対する意見や考えを求めたく思います。また、これを機会に学校にも、取り組みへの協力、連携を一層、図ります。
- (3) また、地域でも児童の登下校時に合わせて、交通安全指導員、不審者対策の見守りの方、それに、まちづくり協議会のパトロール隊などにも依頼をして、あいさつ運動の強化を図ります。

2、「ゴミ・資源ごみ」に関するもの

(みんなの質問・意見)

- ・資源ごみの量が多いので、回収回数を増やし、いつでも出せる場所を作るなどしてほしい。
- ・ごみの回収日の表が見づらい。また、可燃物・不燃物のごみ出しの曜日、時間が分からないし、資源ごみの回収日がわからない。
- ・自治会が資源ごみで得た収入を、各家庭に還元してはどうか。
- ・燃えるごみは各家庭で燃やして処分したら随分減ると思う。一斗缶のようなもので燃やせると思う。
- ・ごみが燃えるゴミ、燃えないゴミ、資源ゴミに分別されていない。ごみ出しの曜日、時間が守られていない。また、ごみを出すときに整理しないので、後から入れる人がいるので困る。
- ・資源ごみ回収でアルミ缶の回収がなくなった。スーパー等に持って行ってしまうと、自治会の収入にはならないのではないかと。アルミ缶回収がなくなったのは、いつからか。
- ・汚れ落しに水道水を使うのは、汚れた水を流す(環境汚染)、また無駄(節水)ではないか。
- ・ゴミ袋は透明な袋でなくとも、袋の中のゴミがきちんとなくなれば米の紙袋でも不透明な袋でも良いのではないかと。市は透明、半透明の白い袋と指定されているが、白色はカラスが袋を破ってゴミをちらかしていくので、黄色の袋とかカラスがよってこない色の袋を考えてほしい。・資源ごみを入れるビニール袋を用意してもらえると助かります。

- ・ゴミ集積場の消毒をして、清潔にしてほしい。
- ・ごみの量は、ごみ出しが始まった時とくらべて随分少なくなった感がある。
- ・ゴミを回収していただいている担当者（市の委託業者？）に、この地域のごみだしのマナーについて、あるいはゴミの出し方、量についての感想、どう変化してきたかなど声を聞かせてほしい。

**(協議会やプロジェクトの取組)**

- (1) いろいろご意見をいただきましたが、大切なことは地域の自治会や、ご近所で話し合えば多くは解決できるように思いました。普段からの付き合いを深め、近隣同士交流していただくことをお勧め致します。自治会で、町内会でもご近所でも、ぜひ話し合ってください。
- また、4月8日の協議会総会での資源循環推進課の方にゴミの話をしていただき、「協議会たより」にもその内容を載せさせていただきましたが、残念なことにそれが生きていないようにも思えます。
- また、資源ごみの収益金は各自治会や連合自治会（夏祭りなど）の活動費として全額、充てています。詳細については自治会へ報告してございます。また、自治会へ振り込まれたものの用途については皆さんでご協議ください。
- (2) 今回のアンケート結果を市の関係課にすべて見ていただきます。そして、それに対する市の意見や考えを求めます。
- (3) 上記回答の結果を検討し、「できるところから運動」やまちづくり協議会で行えることを再検討し、実施します。

**3、「マイバック」に関するもの**

**(みんなの質問・意見)**

- ・スーパーのレジ袋が廃止になってから非常に不便です。結局はコメリやスーパー等でゴミ袋を購入しなければなりません。消費者側に負担ばかりかかる今回のレジ袋廃止は元にもどすべきです。
- ・レジ袋は生ゴミ、不燃ゴミ、保育園のゴミ（オムツ）に必要な為、買う事が多い。

**(協議会やプロジェクトの取組)**

- (1) レジ袋がどうしてなくなったのか、まちづくり協議会で「できるところから運動」になぜ取り組んでいるのか、今、テレビ等でも盛んに伝えている地球温暖化防止への取組、北九州や山口県で起こった集中豪雨は他人事なのでしょうか。自分の問題としてとらえれば、上の意見の多くが解決するように思います。どうでしょうか。まちづくり協議会や市の取組の問題だけではないようです。
- (2) レジ袋は販売店にとっては、買ってもらった商品を入れるために渡しているものです。レジ袋の削減は、作るための石油資源やエネルギーの節約、不要な排出ガスの削減などの、省エネルギーにも貢献しています。ぜひマイバックの活用をお願いします。

**4、「できるところから運動」に関するもの**

**(みんなの意見・質問)**

- ・友達とこの問題について時々会話をしますが、ごみ問題に関しては資源ごみの徹底をしていないにもかかわらず、四つ葉マークだけはきれいにはってあります。このような人たちがかなり沢山おられる様に思います。
- ・啓発推進カードは良いと思いますが、見える所へのシール掲示は、はがした時またははがれた時に後が残ったりすると汚れが目立ち困ります。今後は違った案でお雇いします。家が新築の為ぜひお願いします。
- ・シールとか関係なく個々の意識の問題です。

**(協議会やプロジェクトの取組)**

- (1) 以前にも各自治会にお願いしたように、「できるところから運動」の活動趣旨を自治会や町内会の集会などで再度も話し合い、活動への理解をお願いします。
- (2) 啓発シールの掲示方法は、板などの台紙に貼って門扉、壁などに吊り下げている実例を、回覧・たよりなどで紹介したはずですが、また、再度、連絡します。

**5、「その他」に関するもの**

**(みんなの意見・質問)**

- ・たよりを発行してもらっていますが、全軒配布をしてもらっても軽く目を通すだけの家も多いと思う。町内の回覧で回してもらっただけでよいのではと思う。

**(協議会やプロジェクトの取組)**

- (1) 今回のアンケートで情報が、発信者が思っているほどに、皆に伝わっていないことを痛感しました。以前のアンケートで62%の方が「たより」をよく読んでいるという結果でしたが残念です。もっと読んでいただける魅力ある内容に改善の余地があります。鋭意努力いたします。
- (2) まちづくり協議会の「たより」は掃水校区唯一の情報伝達の手段です。今後とも全戸家庭へ配布し、開かれた協議会組織を維持するためにも最も大切な手段と思っています。